

<2015年度 第3回定例研究会>

## 人口減少都市シカゴにおけるコミュニティ・マネジメント

講演：仁科 伸子（熊本学園大学社会福祉学部 准教授）

日時：2015年12月12日（土）14時～16時

平成27年度第3回定例研究会では、本学社会福祉学部の仁科伸子先生によって「人口減少都市シカゴにおけるコミュニティ・マネジメント」というテーマで講演が行われました。学外の方が多数出席されました。

以下、その内容を報告いたします。

講演のポイントとして4つの点が指摘されました。まず、人口現象はまんべんなく生じるのではなくもっとも小さな地区で始まる。次に、コミュニティ単位で課題が変わってくる。そして、コミュニティ単位で地域をマネジメントする活動主体（プロフェッショナルな集団が生まれてくる。そうして、コミュニティへの再分配が行われるようになる。というものです。

講演内容は、まず、シカゴという街について、次にコミュニティ・マネジメントのしくみや現状、最後にそのコミュニティで暮らす人々の事例という3部構成で行われました。

シカゴは、冬は-20度、夏は熊本くらいの暑さになり、川がある大都市で、日本では大阪に似ていると言われています。また、現在人口はニューヨーク、ロサンゼルスに続くアメリカ第3位の人口260万人ほどの都市です。シカゴは1850年から1950年には人口が350万人増加し、1880年から1900年には一気に120万人の増加を経験した、19世紀の人口急成長都市です。こうした人口の増加は、年代ごとに異なる理由によってヨーロッパからの移民の流入に引き起こされました。そうした急激な人口増を経験したシカゴの街もその後、1905年代をピークに漸減しています。1970年代以降は都市部を中心に犯罪が多発していましたが、地域ごとのニーズを把握し、それに対応したきめ細やかな地域づくりの中で住やすいまちへと変わっていきつつあります。

地域をマネジメントする活動主体を中心に、労働、学校、医療機関、ローカルビジネス、住宅サービス、警察、教会、金融機関、福祉サービス機関が連携しコミュニティ内の事業を推進していきます。例えば、人口7～8万人の黒人地域で、労働者の町のAUBURN GRESHAM（アーバングレッシュム）では、コミュニティオーガナイザーを中心に、住宅開発、拠点施設、児童養護施設、シングルマザーの居住という4つの役割を兼ねた、children villege「こどもセンター」を作られました。他に、高

等教育を受ける準備、生活自立のための学校教育の再生、地域の人ができるクリニック（歯科、病院、心理・ソーシャルサポートなど）の設置、道路を整備し街頭を設置し店舗を誘致、パソコン教室やインターネット設備の無料提供、高齢者デイサービスセンターの設置、黒人の非正規雇用しやのための履歴書の書き方などから支援する就業支援、ローンなどを勉強するハウジング支援などを行なわれています。こうした事業はNPOが運営し、市がお金を出すという形をとっています。このようにコミュニティオーガナイザーは、地域の課題を見つけて、事業を立案し、事業を実施しています。そうした事業を行っていく資金についてシカゴでは、デューティフリー、フォード財団など民間の助成財団からの資金がLISC（中間支援組織）を通して、シカゴの16の地域リードエージェンシーに行く方法が行われています。

最後に、こうした様々な取り組みの中に地域の人活用されて、その人自身がエンパワーメントされたという事例も報告されました。例えば、教育事業の一環として、始まったペアレントメンター事業（子どもを学校に通わせている移民のお母さんが、英語を話せないなどの学校での生活に課題を抱えている子どもの学習補助者として授業等に付き添う取りくみ）に参加していた母親が、自分のリーダーシップに気づき、ボランティアからコミュニティオーガナイザーになった例や、地域のオーガナイザーが、ひとりの女性のもっていた学校の先生になりたかった夢を知り、地域の中で地域の教員が養成できるようなサービス・資金を見つけて夢をかなえることを支えている事例などいくつかの事例報告がありました。どの事例も、地域のオーガナイザーが、自分自身ではなかなか自分らしく生きることができない人々に対して、生活だけでなく、その人自身が持つ力や可能性を見つけて個人全体を支えている姿が見られました。

この講演を聞いて、地域を住みよい場所にするには一人ひとりのニーズをしっかりとらえ、地域のニーズを把握することが必要であると思いました。また、そこで暮らす一人ひとりの持つ力を見出すことによって、その個人はもとより、地域を活性化する力になることもわかり、個人に対してそうした支援をする働きかけも社会に必要なものであることを改めて感じました。

（研究会報告担当者：出川聖尚子）